

平成 29 年 2 月 26 日(日)

(第 39 号)

ワンネット通信

NPO ワンストップリーガルネット

発 信 者 理事長 大内田 治男

E-mail ouchidaoffice@kce.biglobe.ne.jp

電 話 0942-39-0926 FAX 0942-31-5336

「日本の空き家問題」

司法書士 森部 修道

今回のエッセイのご指名をいただきました、司法書士の森部です。

執筆のご依頼をいただいた際、なるべく肩ひじを張らないゆるいエッセイを、と言われた手前、小難しい話はナシにしたいと思います。普段は真面目な文章を書いたりしますので、普段からこんなゆるい男だと思われぬように、最初にお断りしておきます。

さて、本題のテーマですが「日本の空き家問題」・・・かたい！！

テーマがかたいので、できる限り、ゆるく考察をしたいと思います。

と言いますのも、私が所属する福岡県司法書士会には空き家対策に取り組む委員会がありまして、その委員として私も参加しており、日々空き家に関する活動を（本業そっこのけで）やっている経緯があるため、少しご案内したいのです。

久留米市内を回っていて、老朽化した家屋を見かけた経験は皆さんお持ちだと思います。誰も住んでないようだし、ボロボロだし、壊さんと土地がもったいない、なんて思うこともあります。

しかし皆さんご承知の通り、そういった空き家は大抵所有者不明、相続関係不明、未登記だったりするわけです。困ります。誰が困るって、近隣住民。また、住民から苦情を受ける市役所。あとは土地を貸している人。これはいい迷惑です。つまり、土地を貸したら家が建ったけど、ボロボロになって肝心の借主はドロン、結局、土地の所有者であることをもって、市から改善措置を命じられたりする。

そんな負の遺産をどうにかしなければならぬと福岡県内各市町村では、担当課を設けて対策を練っているわけです。しかしその一方で新築物件は増えるばかり。毎日のように新築物件のチラシが投函される状況です。

人口減少時代に突入した日本においては、いずれ3軒に1軒が空き家、なんてことが近い将来におこるらしいです。子供が結婚して別世帯になったら、親は老いて、いずれは施設入所なり亡くなったりするわけです。その実家に誰も戻ってこないなら、そこが空き家になるのは必然と言えます。

先日のニュースで、初めて中古物件取引の成約件数が新築物件成約件数を上回った、なんてやりましたが、この流れが続けば少しは日本の住宅事情も変わってくるのでしょうか。一方で住宅メーカーの将来はどうなるんでしょう。新築の需要はなくならないとは思いますが、新

たな食い扶持を見つけない限り、先細り感は否めないところです。

なんだか暗い話になりましたが、まあ、自宅をお持ちの方々は何かしら、空き家にしないための方策を、元気なうちに検討いただきたいものです。ちなみに私は賃貸です。

●2/4 理事会の報告

ワンネット理事会が2月4日（土）15時30分よりえーるピアの市男女平等推進センターで開催されました。今回の理事会は、28年度前期が終了したことで、これまでの状況とこれからの取り組みをメインに開催。会には、どなたでも参加して建設的な意見をくださいと呼びかけていることもあって、理事10人、監事2人の全員と山浦会員、平岡賛助会員、そして福岡県行政書士会・野田 昌利会長の15人の合計15人の出席となりました。

(28年度前期の概要報告)

会員の異動

前年度末31人でしたが、新年度に入って入会者7人（正会員3、賛助会員4）、退会者1人で1月末現在37人（正会員33人、賛助会員4人）です。そして、さらに4人の入会者が見込まれています。

収支状況

1月末現在の収支状況（概算）は、次のとおりです。

主な収入・・・会費、受取寄付金、補助金など、	収入合計 719,000 円
主な支出・・・無料相談会の開催、セミナー開催など、事業費 286,000 円	
会議費、通信運搬費、事務用品費など、管理費 82,000 円	
	支出合計 368,000 円

(質疑、意見交換)

相談事業

8月～1月の毎月第2水曜日、計6回開催。相談者数136人、相談件数125件（遺言・相続45、離婚18、成年後見5、その他57）と、増加の一途をたどっています。

「その理由は何か」が議論の焦点になりました。

- ・市民の信頼、安心感を得ている。それは、「受付」の重視、相談2人体制、相談会終了後の反省会といった諸手当が功を奏している。何よりも、相談員のNPO活動であることを意識した謙虚な姿勢だ。また「何でも受ける、一緒に考えましょう」というのも好評だ。
- ・何かに困った市民が、「無料相談会はどこだろうか」と半分心配しながら電話で問い合わせるが、これを受けてくれるのが事務局の大内田夫人。この対応が大事で、隠れた功労者と言える。改めて評価し、労に報いることで全員一致した。

相談会が順調に推移していることを踏まえ、これから先も市民の負託に応えるため

にも、会員の意思の疎通が不可欠という視点からの意見があった。

- ・相談会終了後に反省会を行い、相談ケースを出し合って振り返り、情報の共有、共通理解を深めている。もとより反省会は任意だが、限られた人しか参加していない。できるだけ多くの相談員の参加がほしい。

セミナー事業

前期事業は、9月17日（土）えーるピアでの在住外国人によるパネルディスカッション「Youは何しに久留米へ？」（参加者61人）、10月30日（日）えーるピアでの「農産商品 いきいき作戦」（講師：平岡 豊賛助会員、参加者31人）、29年1月16日（月）えーるピアでの「農業委員会とは」など3テーマ（講師：福岡県農林水産部、参加者59人）。

- ・12回目の外国人パネルは好評で、今後さらに組織的な運営を心がけたい。
- ・2つの農業・農村セミナーは、外部の熱い応援に感謝し、これからも身近な課題に取り組み、輪を広げていきたい。

そのほか

- ・会員が増加している。ありがたい。より円滑な運営ができる体制づくり、グループ活動の充実が必要だ。会費、寄付金収入のほか、より安定した収入の検討も不可欠だ。
- ・「ワンネット通信」が定着している。ホームページの再開と相まって、市民向け・会員向けの効果的な情報発信を研究したい。

以上のほか、いろいろな意見交換がありました。

（栗林 武敏）

●29年2月の無料相談会

2月の「暮らしの無料相談会」は、2月8日（水）10時30分から15時まで、市民活動サポートセンター「みんくる」で開催し、引き続き16時まで相談会の反省会を行いました。

相談員は、久留米公証役場の村上公証人と14人のワンネット会員（大内田、森部、山浦、鹿子生、橋口、松枝、中村（妙）、杉野、寺田、平野、古賀（信）、古賀（隆）、宮地、田中）でした。

相談に訪れた人は23人で、相談件数は21件、相談内容は、遺言・相続11件、離婚3件、その他7件（相続税5件、パワハラ、筆界）、その内で継続しての相談は4件でした。

福岡県行政書士会の野田会長が視察されたことは、この相談会の周知度が増してきたことと喜んでいきます。次回は、3月8日（水）です。当日の受付担当は、執行、有馬の両会員です。よろしくお願い致します。

2月の公証業務相談は2月15日（水）で、村上公証人と寺田会員の当番で、相談は「相続」の1件でした。3月の公証業務相談は3月15日（水）で、担当は、田村公証人と森会員ですので、よろしくお願い致します。

●「当番」をお願いします。29 年度の公証業務相談

久留米市主催の常設「市民相談」は 12 相談で、本庁・総合支所・市民センターで行われています。その 1 つ「公証業務相談」は、久留米公証役場とワンネットが担当。毎月第 3 水曜日（一部、定例日以外の日程あり）13 時～15 時、市役所 6 階の広聴・相談課で開かれ、公証人とワンネット会員 2 人が相談に応じています。

その担当者の 29 年度（29 年 4 月～30 年 3 月）の割り振りをしました。よろしくお願ひします。なお、相談は予約制で原則前日までに担当者に連絡されます。（敬称略）

4 月 19 日（水）	松枝	8 月 16 日（水）	森部	12 月 20 日（水）	中村清
5 月 24 日（水）	藤島	9 月 20 日（水）	板橋	1 月 24 日（水）	執行
6 月 21 日（水）	平野	10 月 18 日（水）	神野	2 月 21 日（水）	古賀信
7 月 19 日（水）	仲家	11 月 15 日（水）	立山	3 月 28 日（水）	中村妙

●入会者の紹介

このたび、平山 重登さん（会社経営）が正会員としてワンネットに入会されましたので、ご紹介します。入会は 4 月ですが、すでに入会金・会費を納付されています。

平山さんは、草野町で不動産業を経営。日頃から農業・農村の活性化に関心を持ち、ワンネットの農業セミナーの常連です。次回の本紙面で自己紹介をお願いしています。

●寄付のご報告

このほど、ワンネットへの寄付がありましたので、みなさんにご報告し、お礼を申し上げます。（敬称略）

受取日	お名前	金額	内訳
平成 29 年 2 月 15 日	森部 修道	12,000 円	業務受託

●「認定 NPO への認定申請書」受理される

認定 NPO 取得に向けて事前相談を進めていたワンネットですが、正式な申請書を所轄庁に提出。このほど受理され、実態調査を受けることとなります。調査は 3 月に 2 日間。所轄庁の実態認識を経て一定の基準を満たしておれば、認定が受けられるという運びです。

次回「ワンネット通信」は 3 月 26 日（日）の発行を予定しています。
みなさまからのお気軽なご寄稿、ご意見・ご感想をお待ちしております。